



令和6年度
福島小学校だより

ふくしま

第5号 12月3日
八女市立福島小学校
校長 郷田 純一

文化フェスタで子どもたちが躍動！

<講評>

- 1年:初めてであろう約700名の観衆を前に臆することなく堂々と表現できました。約8ヶ月という短い期間ですが立派な1年生になれました。あと4ヶ月は2年生への準備ですね。
- 2年:笑顔で堂々と表現していました。余裕すら感じました。1年しか経っていませんがこんなに成長できるのですね。1年生にとっても目指すべきいい手本を示してくれました。
- 3年:ステージ大好き3年生。観衆からどう見えているかという視点から自分たちの演技を見直して表現に工夫を加え、さらに成長することができました。さすが中学年です。
- 4年:直前にインフルエンザで欠席する児童も出る中、練習も苦労したことでしょう。それでもあの高いレベルまで発表を高めました。中学年の立派なリーダーになれましたね。
- 5年:今回の発表には高学年としての気概が感じられ、いい6年生になれる予感しかありません。今後は個が輝き、集団としても輝ける「あじさい」のような最高学年になってね。
- 6年:最後に歌声一つでフェスタを締め付けてくれるとはさすがです。信頼できる最高学年です。6年生の頑張りが下学年のいい発表につながっています。校長として感謝するばかりです。
- なかよし:台詞やダンスをよくおぼえ、立派な姿を見せてくれました。本番に至るまでの練習でも苦労したと思いますが、よく頑張り抜きました。一人一人が輝いて見えました。

福島小学校はステージに立つのが大好きな子どもたちが多くと改めて感じました。当日の講評の際に、子どもたちに自己評価を尋ねたらとても満足していると言っていました。きっと、本番までの練習過程で、いい発表にするという共通の目的のもと、先生と子どもたちの両者がアイデアを出し合い、教師と児童が一体となって作り上げてきたからでしょう。また、終わったあとの先生方の晴れやかな表情も印象的でした。応援していただいた地域の皆様にも感謝いたします。

表現力を磨くことは、学力向上はもちろん、その基盤となるよりよい人間関係を構築していく上でとても重要です。今後、さらに磨いていきたいと思えます。

12月～3月で行われる予定の工事・作業

A 高くなりすぎた樹木、害虫のすみかとなる樹木の伐採(玄関前)

B 北校舎東側(一番古い校舎)の補修工事

C 中棟屋上及び南棟屋上の補修工事

教育委員会のお話では、以上の工事等により、高所作業車が複数入る、校舎西側にクレーンが設置される、補修工事のための事務所が建てられることから北門が閉鎖されたり、校舎まわりが立ち入り禁止区域となったりするということです。

今後、ご不便をおかけすることもあるかと思えます。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。 ※令和7年度は南棟の外壁塗装工事(約半年程度)が予定されています。

① 樹木の伐採について(Aについて)

玄関前にあるメタセコイヤは高く伸びすぎて(6年生測定で30m)、枝も枯れ始めています。また、落雷等で倒れた場合、校舎や体育館、自家用車を壊す危険性が出てきましたので高さを半分程度にします。また、常緑樹のカイゾカイブキは害虫の住処となる、視界の妨げになるため、安全・健康確保の観点から根元から伐採します。

② 校舎の補修工事について(B・Cについて)

校舎が古くなり、雨漏りがしたり、壁が剥がれたりする危険性が出てきたりしています。ひびの入っているところを補修したり、剥がれる危険性のある壁を剥がして塗り直したりする工事が予定されています。